



夏季休業期間中の研修

教員の学びの場として、夏季休業期間中に多くの研修会を実施しました。

- 7月22日(月)
 - ・不審者対応訓練
 - ・教育相談研修会「言語」
- 7月23日(火)
 - ・1人1台端末活用研修会
 - ・個別教育計画事例研修会
- 7月24日(水)
 - ・教育相談研修会「自閉症と知的障害の支援基礎知識」
 - ・初転任者研修会「分教室見学」
- 7月25日(木)
 - ・防災訓練(避難訓練、緊急引き取り訓練、避難所設営訓練)
 - ・いじめ防止研修会
 - ・教育相談研修会「感情コントロールと愛着形成」
- 7月26日(金)
 - ・夏季公開研修会「ICTを活用した授業実践～1人1台端末の有効活用～」
- 7月29日(月)
 - ・初転任者研修会「DIG」
- 7月30日(火)
 - ・小学部研修会
- 8月19日(月)
 - ・神知研究発表大会
- 8月21日(水)
 - ・避難所設置研修会
- 8月29日(木)
 - ・不祥事防止研修会



Pickup

夏季公開研修会

「ICTを活用した授業実践～1人1台端末の有効活用～」

7月26日(金)講師に宇都宮大学 共同教育学部 学校教育教員養成課程 教育人間科学系(特別支援教育)の齋藤大地 助教をお招きして研修会を実施しました。研修会には本校職員の他に学校外部から11名、保護者4名が参加しました。

初めに本校の高等部と中学部の実践事例を簡単に紹介した後、齋藤先生が前任校時代に取り組まれた実践例を紹介してくださいました。的確なアセスメントをもとに、子どもの困り感(手先の細かいことが苦手、新しいことが苦手など)に寄り添い、家庭とも連携しながら少しずつ子どもが自信をつけていく過程や、数年後「やりたかったこと」(自分で洋服を買う)をできたうれしい報告なども聞くことができました。「今」取り組むことが、児童・生徒の「未来」を作っていくという実感も持つことができました。小学部の実践事例紹介の後には、実際にDropTapというアプリを操作して、コミュニケーションボードの作成体験をしました。

齋藤先生のわかりやすいお話をもっと聞きたかったと感じる、充実感のある研修会でした。

(情報広報班)

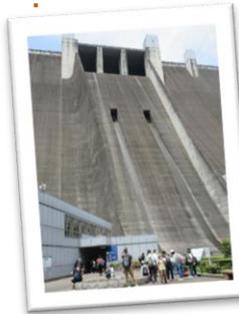


高等部1年 遠足

7月2日(火)に遠足であいかわ公園に行ってきました。雨が降るとの予報もありましたが、当日は晴天でとても暑い1日となりました。3台のスクールバスに分かれて乗り、いざ出発しました。まず訪れた中央広場には噴水があり、周りの豊かな自然と相まってさわやかな雰囲気でした。今回の遠足は宮ヶ瀬ダムをゴールとしていたので、ダムに向かって30分ほどかけて歩きました。途中にもう一つの石小屋ダムが放水をしていましたが、この放水を見られること自体珍しいことらしく、生徒たちはじっくり眺めていました。昼食はダム上にある管理事務所でとりました。友だちや教員とおしゃべりをして楽しそうな様子でした。

普段の学校生活以上に生徒たちの笑顔が見られ、良い思い出になったのではないかと思います。

(高等部1年担任)



同窓会開催!

7月28日(日)午前本校体育館にて同窓会が行われました。卒業生74名、付添保護者、教員含め総勢108名の会となりました。レクリエーション(じゃんけん列車)では、卒業年度が異なる卒業生同士の交流が新鮮で、たくさんの笑顔もみられました。トークタイムでは、在学時の話や近況報告など先生方と話をする時間を設け、終始和やかな雰囲気に包まれ「30分があつという間に過ぎた」という声や「卒業式ぶりに会えてよかった」という声が多く聞こえました。参加賞は、在校生が校内実習で制作した「にじバード」のキーホルダーやメモ帳、マグネットから一つが配られ卒業生と在校生を結ぶものとなりました。

また同窓会で皆さんに会える日まで、卒業生の更なるご活躍を学校より応援しています。

(進路支援班)



校務 グループリーダーにインタビュー

インタビューテーマ
「校務運営で意識していること」



教育企画グループ
大久保昌弘 総括教諭

児童・生徒を中心に 保護者の皆様、地域の皆様、いつも挨拶をしてくださり元気をいただきありがとうございます。私は相模原支援学校8年目となります。温かい皆様の人柄とこの学校が大好きです。私も常日頃、人と人とのコミュニケーション、元気な挨拶を心がけています。教育課程の整理や個別教育計画、行事運営等すべての校務において、学びの系統性、主体性と、児童・生徒を中心に考えていくということを意識しています。保護者の皆様、地域の皆様と連携・協働して運営し、児童・生徒の成長を見守っていきます。これからもよろしくお願いたします。



学習支援グループ
黄木悦子 総括教諭

自立と社会参加にむけて 日頃からご挨拶や温かい労いのお言葉ありがとうございます。皆様にもいつも元気をいただいています。学習支援グループは教員の研究研修と通学支援、情報広報を担っています。今年度新たに原当麻駅にマイクロバスのバス停を設定しました。交通事情など様々な理由で公共交通機関での通学が難しい方でも、駅から学校まで自分の力で登校するという経験を通して、さらに生活を豊かにしていけたらと思っています。地域の見守りボランティアさんのお力も借りながら、保護者の方々と学校とで協力し、児童・生徒それぞれの形での自立と社会参加を支えていきたいと思っています。



安全管理グループ
大久保慶一 総括教諭

私費会計について 主な業務の一つに「私費会計業務」があります。「私費」とはご承知のように、「保護者の方から徴収させていただくお金」です。学年費、学部費、共済掛金、給食費、PTA会費などがあります。これらの処理業務を正確に間違いなく行っていくことを何よりも大切にしています。今年度から導入された「ネットバンキング」にもしっかりと対応し、保護者の方に安心してお任せいただける会計処理を目指していきます。また併せて、私費会計システム全体を見直し、改善していく努力もしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。



支援連携グループ
細谷友紀子 総括教諭

笑顔で挨拶を 支援連携グループは学校運営協議会の委員、保護者、近隣の学校、市の機関、進路先の企業や施設など、いろいろな方と日々連携をとり、児童・生徒の支援につなげられるよう努めています。「連携をとる」ということは、人とつながることだと思っていますが、その際「挨拶」と「笑顔」は大切だと思っています。気持ちよく挨拶ができ、笑顔で話しやすい関係づくりができると、よりよい連携がとれていくのではないかと思います。学校内外問わず「挨拶」と「笑顔」を大切にして校務運営に携わっていただければいいなと思っています。皆様よろしくお願いたします。